

に い が た ろうしきょう NEWS

巻頭シリーズ・元気な笑顔が素敵！ すまいる介護ウーマン



同僚の皆さんと。友人のお母さんや、小中学校の時に訪問した頃から働いている方など、顔なじみばかりなので、チームワークも抜群！



入居者様の居室の中央にある食堂兼談話室。大きな窓の外には、手前に川、奥に緑豊かな大自然が広がる。

2

■**今後の自分** 特養は長期間の利用者様が多いので、ふだんの生活の中で少しでも楽しんでほしいなと思います。

■**就職の理由** 小中学校の頃、ほくら園と交流があつて、行事で訪問したりする中で、「介護の仕事もいいな」と思いました。大島区は高齢化がかなり進んでいます。私の中学校の同級生も、ほとんどが東京で就職して、12人中、3人しか残っていません。私も地元に戻るとは考えていなかったのですが、就職する時、「地元で貢献したい」と思うようになって。ほくら園は昔から知っていましたし、職員の方も知り合いが多かったので、安心してこちらにお世話になることにしました。大島は自然が豊かで、知っている人ばかりで人間関係があつたかい。大好きです。

■**仕事のポイント** 入社してまだ3か月。楽しくてしかたないです。学生の頃、実習で介護施設に行った時はまだ未熟すぎて何もできなくて、「自分はこの仕事に向いていないんじゃないか」と思うこともありましたが、ここでは、入居者の方と過ごすのが楽しいし、職場の方とも仲良くさせて

大好きな大島区に貢献したい。
そんな気持ちでふるさとの施設に
就職しました。

高校までは
バレーボール部。
体を動かすのが好き。

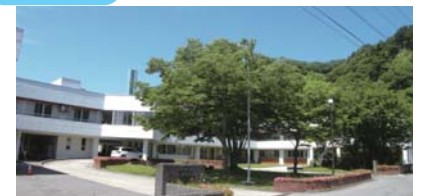
すまいるウーマン 武田美加 さん

- 所属 サテライト型特別養護老人ホーム ほくら園ユニット
- 経歴 1996年1月大島区生まれ 松代高校～青陵短大介護福祉コース卒 介護福祉士・社会福祉主事任用資格 2016年4月より現職
- 趣味 体を動かすこと



陽光がさんさん降り注ぐ、吹き抜けの廊下(左)。右の手作りの壁飾りは、季節のぬくもりとかわいいデザインに注目！

3



特別養護老人ホーム ほくら園

- 運営 社会福祉法人 くびき社会事業協会
- 特別養護老人ホーム 90名(多70、コ個20)
- ショートステイ 10名
- デイサービス 25名
- 新潟県上越市大島区大平5131番地
- TEL025-594-3311

ふだんの生活を楽しんでほしい。



5月の理事会、総会も終了し、27年度の事業が滞りなく実施されたことをご承認いただきました。これは役員は勿論、会員施設事業所の皆様のご協力と、積極的なご参画のおかげとお礼申し上げます。昨年度は介護保険報酬のマイナス2.27%改訂という思わぬ逆風の中、施設事業所の経営もこれまで以上の苦勞の1年であったと思います。今後も高齢者の福祉、介護を守る一心で各地域で事業を展開し続ける皆様のお役に立てるよう努めてまいります。

おかげさまで28年度の事業は順調に推移しています。本会最大の事業であります県研究大会の準備や、各ブロックの研修も始まっています。引き続き事業計画に基づき、会員施設のご要望に忠実に応えて参りたいと考えているところです。

全国老施協では、早30年度改訂に焦点を合わせ走り出していますが、本会としても歩調を合わせ、協力できるところはしていくという姿勢で臨まなければならないと考えます。人材不足など、喫緊の課題もあります。国の財源問題等を考えれば、介護の経営環境は益々厳しさを増していくであろうことは、想像に難くありません。法人の改革にも着手しなければならないなど、この一年も緊張の連続だろうと思います。

また4月14日には熊本地震がありました。本会施設の皆様からは、600万円を超える義援金をお寄せいただきました。ありがとうございました。全額を熊本県老施協を通じ、被災者のお役に立てていただくよう、送金いたしました。

今年度もよろしくお願いします。

熊本地震義援金 7月1日現在
6,276,775円になりました(事務局)

新役員の紹介

業務執行理事に就任して

特別養護老人ホーム三好園しんぞ 施設長 松村 実



この度第4ブロックより理事を拝命いたしました。もとより浅学菲才の私ですので、会員並びに諸先輩よりご指導を頂きながら一生懸命務めさせていただく所存です。

これから私たちはどこを目指して仕事をすればよいのか不安は募るばかりです。介護保険法改正、社会福祉法改正など私たちを取り巻く環境は厳しくなる一方と考えます。こんな時こそ会員それぞれが自らの「サービスの質」の向上を目指し、仕事に真摯に向き合うことが必要と考えます。

微力ながらお役にたてるよう頑張ります。どうかよろしくお願い申し上げます。

特別養護老人ホーム虹の里 施設長 笠巻淳以智



このたび、老施協第2ブロックより理事として就任させていただきました。大役を仰せつかり大変恐縮しております。

また、昨年度の県大会では、会員の皆様をはじめ、関係各位から多くのご協力を頂き、改めて御礼を申し上げます。

業界全体が厳しい状況の中、第2ブロック部会で培った経験を活かし、市井会長のもと、少しでも皆さまのお役に立てるよう、微力ながら取り組んでまいります。

今後もご指導・ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成 28 年度多職種連携研修・機能訓練編【佐渡会場】

平成 28 年 6 月 3 日(金)

佐渡会場にて多職種連携研修・機能訓練編として新潟県作業療法士会会長の横田剛氏の「生活期の高齢者支援～生活行為向上マネジメントを用いて」と題して講演がありました。画一的から個別性の高い機能訓練を行う方法として生活向上マネジメントシートを活用して、生活行為の目標を達成するプロセスの説明があり実践したいと思いました。

メイアイヘルプユー代表理事の新津ふみ子氏から「福祉サービス第三者評価の視点で行うサービスの質の担保」と題して講演があり、自己評価と第三者評価を受けて評価結果を公表することにより、サービスの質の向上を含めた好循環につながる事が理解できました。自己評価を行い自分自身の課題を明確にしていきたいです。利用者本位のサービスが提供できるよう、今回学んだ内容を職務に活かしたいと思います。また、今後も佐渡会場での研修会が開催されることを期待しております。

居宅介護支援事業所大浦の里
管理者 川原由美子さん



講師 横田 剛 氏



講師 新津ふみ子 氏

第 22 回 新潟県老人福祉施設研究大会

第 3 ブロック 長岡市開催

平成 28 年 9 月 12 日(月)～9 月 13 日(火)

多数の皆様の参加をお待ちしております。

JS 老協協

第 22 回
新潟県老人福祉施設研究大会

**地域からの信頼を高め
期待に応える**

～輝く未来へ、福祉のトップリーダーとして～

日程 平成28年9月12日(月)～13日(火)

会場 9月12日(月) 全体会 ハイブ長岡
9月13日(火) 分科会 長岡グランドホテル
ホテルニューオータニ長岡

記念講演

9月12日(月) ハイブ長岡
14:00～15:30
スポンサー・スポンサー
二宮 清純 氏
「組織を動かすリーダーシップ
～名実・名選手から学ぶ～」

9月13日(火) 長岡グランドホテル
15:45～16:45
新潟県老人福祉施設協議会
福間 勉 氏
「『老人福祉』の視点から
見た現状の課題」

1990年生まれ、愛媛県出身。スポーツ選手として活躍。海外で幅広い競技活動を行い、数々の国際大会で活躍。現在は、愛媛県スポーツ振興センターとして活躍中。広島カープのファンとしても知られる。

1949年生まれ、長岡市出身。新潟県立大学社会福祉学部卒業。全国社会福祉協議会新潟県支部長。2004年社会福祉協議会を退任し、全国老人福祉協議会会長に就任。2013年より新潟県老人福祉施設協議会事務局長に就任。

新潟労働局長より社会 福祉団体への要請

去る5月19日に新潟労働局に於いて、2015年に県内の社会福祉施設で起きた労働災害が過去最多となったことを受け、労働局長より本会を含む県内福祉4団体に対し①安全衛生管理体制の充実②福祉機器・用具の導入、使用③効果的な安全衛生教育の実施、など6項目の要請が行われました。

当日出席した市井会長・高橋副会長は、「本会の取組、福祉介護現場の現状や介護報酬減額改定下の問題点」などについて意見を述べ、「要請の周知徹底」「職員のスキルアップ研修」「介護ロボット等福祉機器の導入推進」などについて本会の考え方を表明しました。

施設の勤務者が一層安心・安全に働くことのできる職場づくりは本会の最も望んでいることであり、即日本会の考えも付記して全ての会員に受け取った「要請文」「資料」を送付いたしました。

新潟県開催

平成 28 年度

関東ブロックカンントリーミーティング in 新潟

平成 28 年 10 月 6 日 (木) ~ 7 日 (金)

会場：NASPAニューオータニ（南魚沼郡湯沢町）

カンントリーミーティングは、介護現場の若きリーダーによる「現場の声」の集約・発信の場です。社福改革、人材対策など山積している課題に対し、若者らしい発想と、常に挑戦する気概をもって向き合っていきましょう。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

公益社団法人全国老人福祉施設協議会

21 世紀委員長 木村哲之 氏



介護力向上講習会【新潟分校】

研修に参加して

第1ブロック

特別養護老人ホーム東蒲の里みかわ園

伊藤好広さん



平成 26・27 年度 2 年間の介護力向上研修に参加し、講義において 4 つの基本ケア「水分摂取・食事(常食化)・運動(歩行)・排泄」の重要性を学びました。施設内研修において「介護力向上の基本ケアについて」の研修を実施し、チームを作り水分強化等に取り組みました。利用者に少しでも水分を摂ってもらえるよう、一人ひとりの嗜好品を把握し、色々な種類の飲み物を揃え、1 日の水分量 1,500ml を目標に飲んでいただきました。平均水分摂取量は、1,200ml 位でしたが、取り組みを行った結果入院者が減り、平成 27 年 3 月特養の稼働率 99.9% を達成しました。今後も他職種とチームで連携しながら自立支援に向けての取組みを継続していきます。

施設の取組み

第3ブロック

特別養護老人ホームさわたりの郷

羽田野隆之さん

さわたりの郷で、行っている歩行への取組みについて紹介します。

対象のお客様は、入所時、車椅子を使用していました。立位保持が可能なことから、介護力向上講習会で学んだ理論を生かし、歩く回数と距離の目標を定め、歩行への取組みを行いました。

初めは足が前に出ないことがありましたが、歩行器歩行の回数を重ねるごとに、徐々に足が前に出るようになり、距離も伸びました。「今日は調子が良いので、隣の部屋(フロア)まで歩く」との力強い声も聞かれるようになりました。

ご本人にもご家族にも、歩けたことを喜んでいただきましたし、職員も自分たちが実践した介護により、お客様がお元気になっていくことを実感し、やりがいを感じ、自立支援介護へのモチベーションアップにつながっています。



「ONの私」 「OFFの私」



第5ブロック
特別養護老人ホームみなかみの里
介護支援専門員
植木冬樹さん

私の幼少期は病弱で、体力作りを目的に、小学校4年時より「空手」を習い始めました。練習に励むと、体力向上と共に病気も減り、大会においても全国大会に出場するまでに至りました。そして、空手を通して得た「礼儀」や「心技体」の大切さを伝えようと、地域の子供達等への指導・育成にも取り組んできました。

仕事でも「心技体」の精神は活かされています。「仕事への熱意（心）・専門技術の追求（技）・健康な体（体）」をモットーとし、施設ケアマネとして入所者様の幸せの実現に向けて日々鍛錬に励んでいます。



第2ブロック
新潟市養護老人ホーム松鶴荘
看護職員

山田 誠さん

「何事にも誠実に向き合うこと。名前が誠だけにね」。仕事で大切にしていることを聞くと、おどけてそう答えてくれました。

仕事だけでなく、プライベートも大切にする山田さん。趣味はマラソンです。

「ゴールした時の達成感に中毒性がある」とトレードマークの日焼けで真っ黒な顔（にある目）を輝かせて話します。今までに100kmマラソンに4回挑戦し、全て完走しています。次なる目標は、「佐渡200kmマラソン」と「ウルトラトレイルマウントフジ（160km）」を完走すること…。もはやアスリートです。

実際に大会が近くなるとアスリート顔負けの調整を行います。昨年100kmマラソンに参加した際は、数日間アーモンドとチーズのみで過ごしていたそうです。

（文：日下 祐さん）



介護あるある川柳



話さない

人ほど待ってる

言葉かけ

倉島暁子さん

家帰る

攻防めぐり

ご飯です

土屋邦治さん

手を握り

すべすべしてる

私より

大熊ゆかりさん

伸びきった

腰痛ベルトに

肉がのる

匿名さん

お人形

抱いた眼差し

母の顔

あじさいさん

短期間での募集にも関わらず、三十一句ものご応募ありがとうございました。惜しくも選ばれなかった句も、それぞれ投稿者の思いが込められた素晴らしい句でした。

自らが受けたいと思う医療と 福祉の創造を目指して

特別養護老人ホームくりの木 施設長

田村みゆきさん

●施設長リレーコラム●



特別養護老人ホームくりの木は、新潟市中央区の本馬越という地域に昨年5月開設いたしました。1階にグループホーム1ユニット、小規模多機能型居宅介護、2階に特別養護老人ホーム3ユニット29名、3階に短期入所3ユニット29名で運営しています。

開設にあたっては、地域の皆様のご協力とご支援をたくさんいただき、ようやく1周年を迎えることができました。地域密着型の施設である特徴を活かし、入居者と地域の方々と職員の交流を目的に1年目から『共にふれ合い楽しめる』企画を職員が考え実行してきました。

昨年秋のお祭りでは、芋煮会を企画し、家族会のご家族の皆様が中心になり、芋煮作りや盛り付け、配膳などを担ってくださり、ご家族と職員の交流を深めることができる

1日となりました。また、認知症カフェを開催し、地域にある他施設様との交流にも力を入れ、施設に入居することになっても地域の一員として生活し続けることができる施設を目指し取り組んでいます。

今年4月には、この春大学や専門学校を卒業した新入職員8名を迎え、「活気ある職場」「生きがいやりがいの持てる職場」を職員と一緒に作り上げるべく日々奮闘しています。

利用されるお客様も働く職員も『安心』できる施設になれるよう、技術や知識の向上を目指し、学びを通じて人材育成をして行く中で、まごころ込めたお付き合いを大切にこれからも職員と力を合わせて施設運営を行ってまいります。



家族会手作りの芋煮会



新潟まつり・大民謡流しに参加しました。



醤油味牛肉芋煮とみそ味豚肉芋煮

事業所所在地	新潟県新潟市中央区本馬越2丁目15-34
運営事業者	社会福祉法人苗場福祉会
事業所の種類	特別養護老人ホーム
定員	29名
連絡先等	TEL 025-278-8400 FAX 025-241-8401

発行所 一般社団法人 新潟県老人福祉施設協議会
新潟県新潟市中央区上所2丁目2-2 新潟ユニゾンプラザ 2F
電話 025-281-5534 発行人 市井 栄吉
にいがたろうしきょう NEWS 平成28年7月13日発行